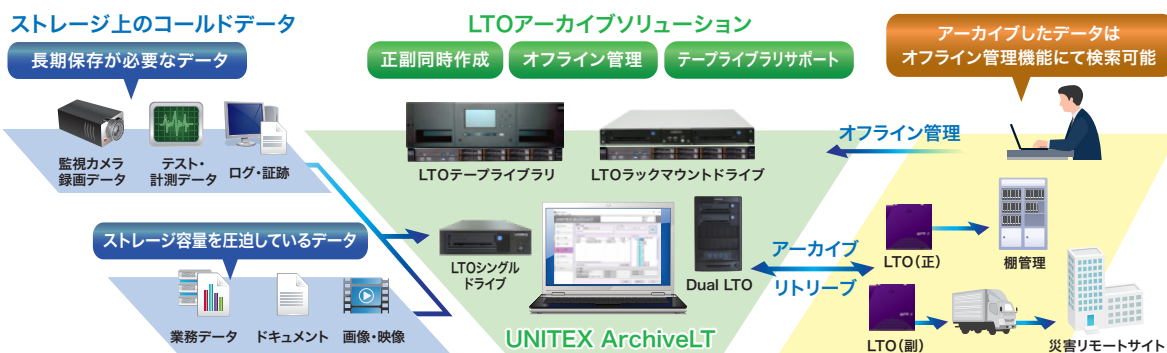


UNITEX ArchiveLT

大容量データの高速アーカイブ・リトリート・オフライン管理機能を提供し、LTOシングルドライブからライブラリまで幅広い用途に活用できるアーカイブソフトウェア



特長

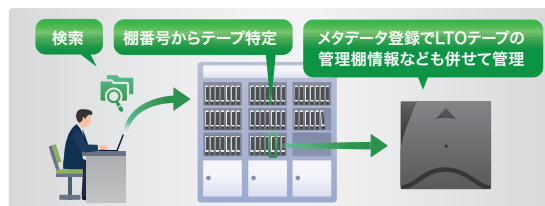
● 高速アーカイブ&リトリート

UNITEX ArchiveLTは、独自のデータ転送アルゴリズムにより、デバイスの性能を最大限に活かす高速データアーカイブを可能にしています。デバイスはLTO以外にも、HDDやSSDなどにも対応し、高速にアーカイブすることができます。また、複数のデバイスへの同時アーカイブやアーカイブ後の自動ベリファイ、LTOテープの暗号化など、重要なデータを安全に取り扱うための機能を多数搭載しています。



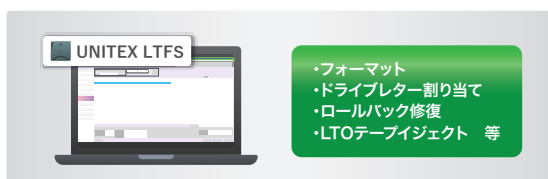
● アーカイブデータのオフライン管理

アーカイブしたデータは管理情報に登録され、アーカイブデータのオフライン検索を行うことが可能です。LTOに保管されているデータを確認することや、目的のデータがどのLTOに保管されているかを容易に検索できます。また、アーカイブデータには任意のメタデータを最大15個まで登録することができます。例えば、メタデータにLTOの保管場所やデータの種類などを登録しておくことで多数のLTOの棚管理を容易に行うことが可能です。



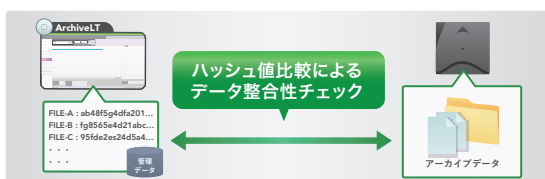
● 「UNITEX LTFS」を組み込んだアーカイブソフトウェア

ユニテックスが独自開発した「UNITEX LTFS」を統合し、すべてのLTFS機能を提供します。



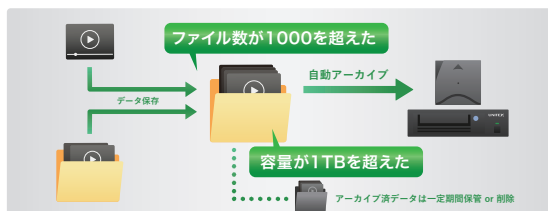
● アーカイブデータの整合性チェック

アーカイブしたデータは、各ファイルのハッシュ値が自動的に管理情報に登録されます。整合性チェック機能では、アーカイブデータからハッシュ値を再計算し、管理情報のハッシュ値と突合することにより、アーカイブデータに変更がないことを確認できます。



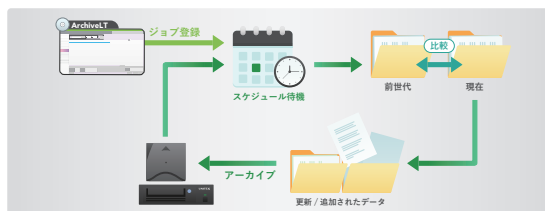
● 自動アーカイブ(フォルダ監視/スケジュール)

フォルダを監視して容量が設定値を超えた時や設定されたスケジュールに合わせて自動的にアーカイブを実施します。



● インクリメンタルアーカイブ

アーカイブを世代管理し、前世代から更新/追加されたファイルのみアーカイブを実施します。



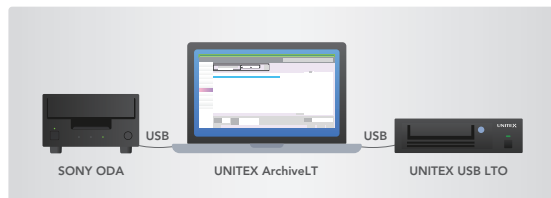
● LTFSハードウェア暗号化機能 オプション

マスターキー方式と個別キー方式により暗号化。暗号 / 非暗号テープの混在管理が可能です。



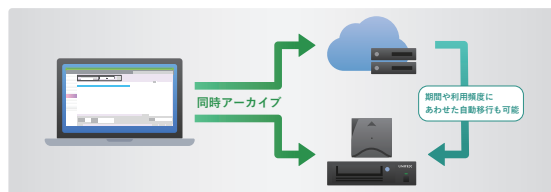
● SONY ODAマイグレーション オプション

SONY社の光学ディスク・アーカイブとUNITEX USB LTOドライブ間のマイグレーションが容易に行えます。



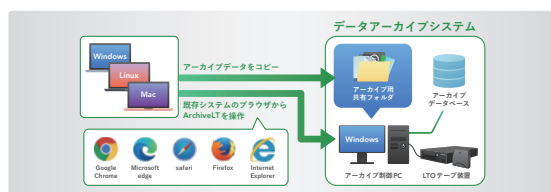
● クラウド連携 オプション

ユーザーPC上のデータを、LTOテープおよびクラウドへアーカイブが可能です。アーカイブされたデータは容易に検索ができ、LTOおよびクラウドからリトリートができます。



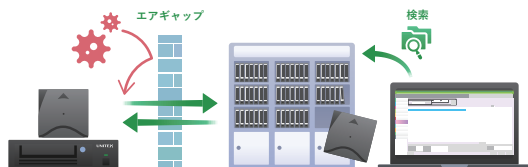
● Web接続操作 オプション

Linux(Ubuntuなど)、Mac、Windowsなど様々なOSから操作が可能です。アプリケーションのインストール不要で、HTML対応ブラウザによる簡単アクセスで操作できます。



オフライン管理とランサムウェア対策

独自のデータベースにより、LTOドライブ/ネットワークに接続してなくてもデータの管理が可能なオフライン管理は、エアギャップ構築により、ランサムウェアのリスクを最小限に抑えることができます。



エディション別機能比較表

○:標準、●:オプション、×:非対応

機能	Standard	Enterprise
LTFS(OSファイルシステム連携)	○	○
データコピー&ベリファイ	○	○
データアーカイブ&ベリファイ (データベースによるオフライン管理)	○	○
アーカイブ自動実行 (フォルダ監視/スケジュール/インクリメンタルアーカイブ)	○	○
ジョブ保存/ジョブ実行履歴管理	○	○
TARテープアーカイブ	○	○
コマンド連携インタフェース	○	○
LTOドライブライセンス(2ドライブ)	○	○
LTOドライブ追加ライセンス(1ドライブ)	●	●
LTOオートローダ装置制御(10スロット以下)	●	○
LTOライブラリ装置制御(40スロット以下)	×	○
LTOライブラリ装置追加スロット(40スロット)	×	●
他社LTOドライブ制御	●	○
SONY ODAマイグレーション	●	●
クラウド連携	●	●
LTFS暗号化	●	●
Web接続操作	●	●

動作環境要件

名称	対応装置/環境
CPU	Intel Core i3以上 (LTOドライブ数 x 2つのCPUコアを推奨)
メモリ	4GB 以上 (推奨 8GB 以上)
推奨インタフェース	USB 3.0 以上 ※ USB機器を接続する場合 SAS 6Gbps 以上 ※ SAS機器を接続する場合
ディスプレイ	解像度 WXGA以上が表示可能なディスプレイ
対応OS	Windows 10 (x86/x64) Ver.1607以降 Windows 11 (x64) Windows Server 2016 (x64) Windows Server 2019 (x64) Windows Server 2022 (x64) Windows Server 2025 (x64) ※ 記載のないOSについては、お問い合わせください。
対応装置	- LTOシングルドライブ LT90H/80H2/80H/70H2/70H/70(USB/SAS) - LTO ライブラリ - LTO ラックマウントドライブ - Dual LTO Series - フラッシュメモリ/ディスクストレージ - SONY オプティカルディスク・アーカイブ ODS-D280U ※1 ※1 オプションライセンスが必要です。
対応媒体	- LTO ULTRIUMカートリッジ (LTFS形式、TAR形式) - フラッシュメモリ/ディスクストレージ ※1 - SONY オプティカルディスク・アーカイブカートリッジ ODC3300R ※2 - クラウドストレージ (Google Drive、Amazon S3、Wasabi) ※3 ※1 FAT32 / exFAT / NTFS / UDF形式 ※2 オプティカルディスク・アーカイブ連携オプションライセンスが必要です。 ※3 クラウド連携オプションライセンスが必要です。